

今日石神井公園区民交流センターで行われた例会の報告です。

A、議題

1、石崎さんから提案の広報活動については、次回までに下の2つに取組み、報告することになりました。

(1) ねりまチャイルドを人してもらうために「ロゴ」を作る。それは、石崎さんの知り合いのプロ等の方に聞いてもらう。また、何かのイベント等を通じて、子どもたちに書いてもらったりして募集する。
(担当 石崎さん)

(2) ねりこそナビに登録する。そのことでまずは就学前の保護者に認知してもらったり、「ねりま子育てメッセ」等のイベントに参加し、その機会に子どもたちに子どもの権利条約について知ってもらう。
(担当 土田)

*上記以外にも、作ったロゴを入れて、名刺代わりのチラシを作り、それを配ったり、あちこちに置いてもらったりする。そのチラシに（賛同が得られれば）長谷部さんや石倉さんなどに賛同者として名前を掲載させてもらう。そのことで宣伝力が増すのでは？

*また、公明党の議員さんなどにも、ワークショップやイベントのチラシを送って参加してもらう。などが話されました。

2、ねりまチャイルドのホームページをみんなで見てみました。

- ・今は文字が多いので、ロゴや写真などをたくさん入れる。
- ・とにかく多くの人に見てもらえるように、工夫していく。

*今は検索しても全然見つからない状態なので、ねりまチャイルドの賛同者で、ホームページやブログ等をお持ちの方、ぜひリンクを貼ってください。よろしくをお願いします。

3、7/18（木）に開四小学童クラブで実施した「子どものけんりカルタ」での遊びについて、井上さんから報告。井上さん手作りの賞品がとても良かったので、子どもたちもとても乗って参加していた。これからも、来年4月からの民間委託後も実施できるように、実績を作っていく。

4、子どもの権利条約のワークショップを、誰でもできるようにマニュアル化していく。今回は大泉南小で実施したものと1月5日にココネリで実施したものをたたき台として討議しました。特に話題になったのは、小学校でのWSは時間が少ないので、内容をどう絞るかでした。特に班で話し合ったり、個人で書いてもらったりするのが難しいので、どうしたら書くことができるか、時間をどれくらいとるかが話題になりました。これについては、今日決定ではなく、これからもそれぞれが実践を積み重ねて改善していくことになりました。

5、最後に「練馬区子ども議会H29年報告書」についての話し合い。

土田の方で、夏休みを中心に約2か月、回数は6回、時間は21.5時間を費やしているが、その大部分が区政・区議会についての学習で、せっかく沢山の時間をかけて作った政策提言の発表がわずか1時間だけである。これでは、目的の第一に挙げられている「子ども議員...の希望や意見を表明する場を提供する...。区政に反映させる」という目標に合致していないこと。「子ども議会実行委員会」に子どもたちが全く入っていないこと。4つのグループの提言とそれへの区側の回答も、ほとんど「やっています」「これから検討します」等の言葉ばかりで、これでは子どもたちもせっかく色々調べて提言した甲斐がない。「区政に参加して何か言っても実現しない」というあきらめを植え付けるだけでは？との報告がありました。

その後、星山さんから、こうした子ども議会が2000年のプレミアムイベントとして導入されたこと。その時は「子どもの意見を聞いて区政運営に役立てる」という姿勢がしっかりしており、目的にも「子どもの権利保障の周知・啓発」が入っていた。小学生も

参加していた。しかも学校だけでなく児童館からの推薦もあった。何より子どもたちが作った「子ども宣言」で議会で採択されたことなどが話されました。

B、連絡事項

1、津田先生の葬儀に参列した方から、その様子が報告され、津田先生の遺稿のプリントが配布されました。

2、8/2（金）来年度からの小学校の教科書の採択が行われるので、ぜひ教育委員会の傍聴を。

*今回も色々な資料がありました。なかなかホームページ等にはアップしきれない量なので、ぜひ次回参加された時に、受け取ってください。

*次回は、9月7日（土）13：00～サンライフ練馬で（中村橋駅すぐ近くです）

*その次は10月5日（土）13：00から（場所未定）。ぜひ予定に入れてください。